



鬼瓦味噌蔵の お仕事を紹介します



珈琲・味噌・漬物と畑。「翔の会ブランド」をコンセプトにした、この4本柱が味噌蔵の作業を支えています。

味噌蔵の1週間は、月曜日に珈琲豆をスタッフが焙煎、利用者が不良豆を取り除くピック作業をすることから始まります。新鮮な豆を新鮮なうちにお客様にお出したので、なるべくその日にピックを済ませています。

その週の発注に合わせて、夕方にはブレンド。翌日火曜日には、ブレンドされた豆を挽き、各喫茶への注文分を計量して袋詰めし、ワンドリップコーヒーを一つ一つ手作業で詰めていきます。

水曜日、シーラー作業をしながら、できたものから発注準備。木曜日、金曜日はワンドリップコーヒーをパック詰めしてラベル貼り。月曜日に焙煎した10kg以上の珈琲を週末には出荷しています。急な発注にも丁寧に間違えないようにと努めていて、利用者も質の高い仕事ができるようになってきています。

同時進行で、月曜日・木曜日には畑の作業をしています。ピクルスの材料となる野菜や、空と海の厨房を委託している業者さんに納品する野菜の値付け・収穫のほかうーたん保育園の子どもたちのためのイモ掘り用の芋を育てたり、珈琲の売上が低迷する夏はブルーベリーの実を摘んだり、天気と季節に合わせて様々な作業をこなします。

畑作業の合間の週半ばには漬物をつけます。漬物は3種類のピクルスが主軸。畑で採れた野菜を中心に、色合

い良く、季節によって内容を変えながら仕上げています。季節の野菜を活用したこのピクルスは、カフェあうんやcafeくすくすなどのランチメニューに付け合わせるピクルスとしても納品しています。週1回のピクルス作業は配色を考え、微妙なサイズの野菜をバランスよく取り入れるなど、作業に求められる事も多く、らっきょうや生姜の製品化作業も加わると、目の回る忙しさになります。その忙しさも利用者とスタッフが力を合わせて仕上げますので、何とも言いえない達成感を味わえる人気の作業です。

1週間はこんな具合ですが、1年を通すと、春先にらっきょう。初夏には梅干し。秋はきゅうり漬。冬は大根漬の仕込みが入ってきます。顔なじみの八百屋さんにお世話になりながら、汗ばむ時期が来ると「そろそろらっきょうだね～」なんて季節の会話が飛び交います。

そして、肌寒くなるとやってくるのは味噌のシーズンです。味噌蔵の作業のピークは冬。珈琲も忙しくなる冬ですが味噌は寒仕込み。11月から3月までは、早朝から大豆を茹で始める味噌作りが週1~2回加わります。おかげ様で3回目の冬を迎え、利用者とスタッフの腕も上がって1日に仕込める量も倍になりました。

珈琲・味噌・漬物・畑、4本の柱をこれからも質の向上に努め、おいしい「翔の会ブランド」を地域に届けていきたいと思っています。

味噌蔵の利用者が自信を持ってお届けする製品をどうぞご賞味ください。



お買い求め・お問い合わせは、

鬼瓦味噌蔵

住所:茅ヶ崎市高田1-12-28

電話:0467-53-8252



2014年度 翔の会 事業計画

1.基本理念 誰もが地域で暮らせるために

大切にしたいこと

一人ひとり
かけがえのない
存在として
尊重します。

本人を
中心として
寄り添う
支援を行います。

2.運営方針

- 1 利用者本人を中心とした個人の生活・活動の場と支援体制の充実を目指します。
- 2 利用者的人格としての「性差」を尊重した介助の提供を目指します。
- 3 利用者の権利擁護とサービスの向上を目指して、事故と虐待を防止し、権利擁護推進の為に活動をすすめます。
- 4 ソーシャルインクルージョンの理念に基づき、利用者全てが「地域生活者」であることを認識し、地域ニーズの把握に努め、地域の福祉環境改善に積極的に関わっていきます。そのため、地域の関係団体や施設等と連携を図り、地域福祉のネットワークづくりを目指します。
- 5 職員の資質向上を目的として、研修や人事管理制度の充実を目指します。
- 6 安定したサービスが提供できるよう、労働条件・職場環境等の整備を図ります。また、適切な財務管理と会計処理システムに努め、信頼性の高い効果的・効率的な経営体制を確立します。
- 7 サービスの質の向上を目指して、リスクマネジメントの充実やコンプライアンスの徹底、情報公開に努め透明性の確保を図ります。

3.重点課題

(1)安心できるより良いサービス提供の実現

- 1 本人の意向を生かした支援の充実
 - ・本人参加による個別支援計画の作成の実施
 - ・本人の意向をくみ取るアセスメントの強化
 - ・本人を中心とした実践の振り返り(評価)
- 2 権利擁護の推進
 - ・人権研修の実施
 - ・権利擁護アンケート結果に基づき、質が保たれるケアへの取り組み
 - ・Sネットとの協働による協力員研修の実施
- 3 健康を守る支援の充実
 - ・医療的基礎研修の実施
 - ・喀痰吸引等登録研修機関への登録と職員の養成
 - ・在宅生活を支える医療と介護の連携による支援への取り組み
- 4 遊びの文化を創る
 - ・利用者や家族、地域の人々と共に「生きることを楽しむ」実践の追及
 - ・「～をしたい」の声に応える

(2)透明性の高い安定した運営の現実

- 1 人財育成・安心した労働環境のための労務管理体制の構築
- 2 人財育成・職員研修の体系化と資格取得の推進
- 3 苦情解決体制の充実
- 4 衛生・天災を含めた危機に対する備えの強化管理運営体制の強化
- 5 全ての事業所における自己評価の実施と第三者評価の推進
- 6 新会計基準への対応

(3)新規事業への取り組み

- 1 生活介護事業所「ちがさきの木魂」の整備
- 2 在宅部門における看護と介護の連携によるサービス提供の実施
- 3 障害児の放課後支援についての検討
- 4 湘南鬼瓦の改修工事の検討
- 5 発達障害者の通所の場の整備

1. 事業概要

新規事業 サービス付き高齢者向け住宅「アトリオ松が丘」
(茅ヶ崎市松が丘) 10月開所



2. 重点課題

(1) 安心できるより良いサービス提供の実現

- ① 本人の意向を生かした支援の充実
 - ・本人参加による個別支援計画の作成の実現
 - ・本人の意向をくみ取るアセスメントの強化
 - ・本人を中心とした実践の振り返り(評価)

以上の3点を着眼点としてすすめてきました。その結果、障害部門では書式の統一を図ることとしました。また本人の意向を生かしたプランの立て方について、障害部門、高齢部門、児童部門、合同の研修会を次年度当初実施し実践につなげることにしました。
- ② 権利擁護の推進
 - ・人権研修の実施

10月～11月の間で4回に分けて顧問弁護士による人権研修を実施しました。

 - ・権利擁護アンケートの実施

7月に実施しました。集計結果は4月に実施した職務基準票の自己評価の集計結果と合わせて顧問弁護士と分析し、次年度の法人職員全体研修で周知を図ることとしました。

 - ・虐待防止強化月間の実施

10月から11月を強化月間と定め実施しました
- ③ 健康を守る支援の充実
 - ・医療的基礎研修を実施しました。

(2) 安定した運営の実現

- ① 労務管理体制の構築
 - 外部委託を始めました。
- ② 人材育成・職員研修の体系化
 - 課題別研修(ソーシャルワーク事例検討会・自閉症児者事例検討会・実践発表会・地域セミナー)、階級別研修の他、共通研修として医学的基礎研修・マナー研修・コミュニケーション研修・認知症ケア研修・介護技術研修・交通安全講習会を実施しました。
- ③ 苦情解決体制の充実
 - 第三者委員に携帯電話を持ってもらう体制を整えました。
- ④ 防災体制の強化
 - 大規模災害行動マニュアルを作成しました。
- ⑤ 第三者評価の推進
 - 水平線での実施を検討中です。
- ⑥ 事業所間の情報共有と連携体制の強化
 - 各種委員会・会議を設け実施しました。

(3) 事業展開と今後の見通し

- ① サービス付き高齢者向け住宅の開所
 - ② 在宅部門における看護と介護の連携によるサービス提供の実施
 - ③ 発達障害者の通所の場の整備
 - ④ 寒川における通所の場の整備
 - ⑤ 児童の通所の場の検討
 - ⑥ 湘南鬼瓦の改修工事の検討
- 10月開所しました。
11月に 小和田居宅・訪問介護、訪問看護ステーションつばさが同じ事業所に移転しより連携してサービスを提供できるようにしました。
検討中です。
検討中です。
寒川と茅ヶ崎それぞれ放課後デイを設置する方向で検討しました。
27年度実施に向け検討中です

事業活動決算書

単位:千円

就労支援事業活動収入	
就労支援事業収入	42,055
福祉事業活動による収入	
介護保険収入	693,681
自立支援費等収入	1,389,662
措置費収入	78
運営費収入	75,106
私的契約利用料収入	2,460
事業収入	107,070
補助事業等収入	71,764
経常経費補助金収入	60,268
寄附金収入	7,867
雑収入	30,998
借入金元金償還補助金収入	19,731
引当金戻入	3,584
国庫補助金特別積立金取崩	61,914
事業活動外による収入	
借入金利息補助金収入	3,847
受取利息配当金収入	517
会計単位間繰入収入	12,229
経理区分間繰入収入	213,391
特別収入	
施設整備等補助金収入	6,476
施設整備等寄附金収入	3,382
国庫補助金特別積立金取崩	610
総収入計	2,806,080
就労支援事業活動支出	
就労支援事業支出	50,910
福祉事業活動による支出	
人件費支出	1,645,592
事務費支出	310,710
事業費支出	316,555
減価償却費	156,007
徴収不能額	0
引当金繰入	17,088
事業活動外による支出	
借入金利息支出	20,587
会計単位繰入支出	12,229
経理区分間繰入支出	213,391
特別支出	
国庫補助金等特別積立金積立額	6,476
固定資産売却損・処分損	250
その他の支出	8,295
総支出計	2,758,090
当期資金収支差額	47,990

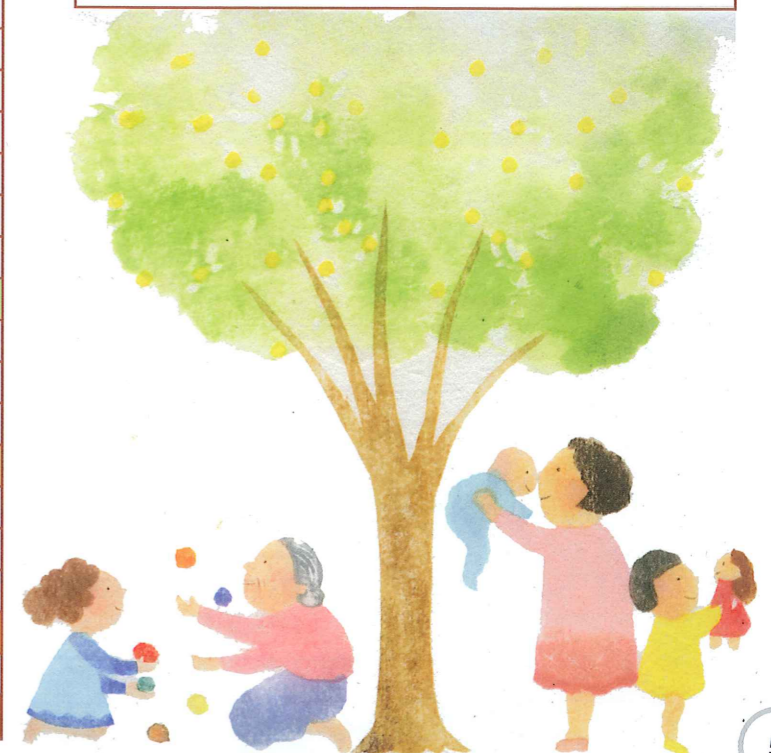
貸借対照表

単位:千円

流動資産	680,085
固定資産(建物)	1,601,725
(建物付属設備)	397,636
(土地)	969,771
(その他)	965,597
資産の部合計	4,614,814
流動負債	174,402
固定負債	1,760,549
負債の部合計	1,934,951
基本金	196,892
国庫補助金等特別積立金	1,258,866
その他積立金	135,000
次期繰越活動収支差額	1,089,105
(うち当期活動収支差額)	47,990
純資産の部合計	2,679,863
負債と純資産の合計	4,614,814

上記は以下の4つの会計報告の合算となっています。

社会福祉事業一般会計
就労支援事業一般会計
公益事業都区别会計
訪問看護公益事業特別会計



翔の会法人全体研修会 報告

2014年4月13日(日)、茅ヶ崎市役所分庁舎のコミュニティホールにて法人職員全体研修会が行われました。



研修の最初は、河内理事長より「より良い支援のためにも職員自身が遊びやゆとりを持つこと、オンオフの切り替えをしっかりとすること」「利用者とともに一緒に楽しむ気持ちを持って欲しい」という話がありました。斉藤総合施設長からは、法人理念や今年度の事業計画、重点課題などについて話がありました。

研修の後半は、「利用者の声を聞こう」と題し、「人生を語る～これまで、そしてこれから～」というテーマのもと、3名の利用者から発表をしてもらいました。400人を超える出席者を前に、発表してくれた利用者は緊張したと思いますが、それぞれに自分の思いを話してくれました。障害を持った利用者からは、仕事のこと、日常生活のこと、これからの希望など、高齢の利用者からは、今の生活やこれまでの生活についてなど、ご自分の言葉で語ってくれました。

改めて「利用者の声」を聞くことの大切さを共有できた研修会となりました。「誰もが地域で暮らせるために」という法人の基本理念に近づくためにも、日々の利用者との向き合い方を考える良い機会となりました。

翔の会 理事・監事 名簿

2014年5月23日から2016年5月22日までを任期とした理事・監事の皆さんです。

「誰もが地域で暮らせるために」という法人の基本理念を実現していけるよう、理事・監事の方々の方向付けのもと、職員一同努めて参ります。

理事長	河内 智恵子	理事	伊藤 崇博	監事	菅原 英則
理事	宮代 隆治	理事	斉藤 志津加	監事	富岡 貴生
理事	益永 律子	理事	松永 徹		

助成金事業 完了報告

この度、翔の会では下記の助成金事業を完了しました。ここに事業完了のご報告を申し上げますとともに、ご協力を賜りました関係各位に謹んで感謝の意を表します。

事業名	事業内容	助成金額	実施場所
車いす対応車(普通車)の整備(日本財団)	福祉車両の購入	3,660,000円	水平線

Photo: Minoru Shiino

「翔の会実践発表会」のご案内

8/3 (日)
13:00
～16:30

会場

さがみ
農協ビル5F
大会議室

入場無料

翔の会事業所において、どのような支援や取り組みを行っているかを広く地域の方々に知ってもらうとともに、意見をいただく場にしたいと思っています。皆さんのお越しをお待ちしております。

「フィエスタ翔」開催のご案内

毎年恒例の「フィエスタ翔」を今年も開催します。ステージ発表や模擬店・バザーも行いますので、是非ご来場下さい。

お問い合わせ TEL:0467-54-5424

10/11 (土)
10:00
～15:00

会場

TOTO
茅ヶ崎工場

地域セミナー 開催報告



2014年2月1日、さがみ農協大会議室にて、「食べる・耕す・つながる」と題し2013年度翔の会地域セミナーを開催しました。

今回は、湘南地域の自然資源を活用し、持続可能な方法で地域経済の活性化を目指す、NPO法人湘南スタイルの理事長、藁品孝久さんを講師としてお招きしました。

第1部は藁品さんによる基調講演。「食べる・耕す・つながる」をテーマとし、茅ヶ崎を中心とした湘南地域から農家がどんどん減っている現状の中で、地域の人たちをまきこみながら、農業を守り「おかゆ」や「みかん」など地域に根差した商品作りをされていることなどを分かりやすく話してもらいました。つながりがなければ単体で終わってしまう。人と関わることで事業が開けていくということがよく理解できました。

第2部では翔の会特別養護老人ホーム「ゆるり」の高橋施設長、就労支援部の佐藤施設長を含めた3人での鼎談(ていだん:3人が向かい合って話をする)が行われました。佐藤施設長から障害者の就労の現状を、高橋施設長から地元の農業の現状の一つとして岡本畜産さんの話を。そして、藁品さんも交えて、茅ヶ崎における障害者が働く場としての農業に話が広がっていきました。

このセミナーを通して、地域の中で事業展開していくには、地域とのつながりがいかに重要かということを考えさせられた時間でもありました。

当日は、多くの方にご協力いただき、また、お越しいただき、ありがとうございました。

当日は、多くの方にご協力いただき、また、お越しいただき、ありがとうございました。

後援会 からののお知らせ

春の市民まつり

第30回春の市民まつりに出店しました。
 お天気に恵まれ、収益を得ることができました。

後援会総会

第22回翔の会後援会総会を開催しました。
 今年度も翔の会の活動に役立つ物品を寄附
 できるよう活動計画や報告などを行いました。

翔の会への寄附物品

2013年度後援会から翔の会へ寄附しました。
 皆さんから大変喜ばれています。

寄附物品表

施設名	寄附物品
湘南鬼瓦	発電機
第二湘南鬼瓦	パソコン3台
カフェカレッタカレッタ	冷凍ストッカー
PCグランマ	エアコン、物置
カフェグランマ	アイスクリームマシン、洗濯機、送迎車両
UZU	昇降テーブル、椅子、ソファ、ノートパソコン
トネリコ	ソファ
グリーングラス	作業机、椅子
夢ある街のたい焼き屋さん	自動販売機(薪、炭)
ブルーベリー	スチールロッカー、エアコン
Cafeくすくす	冷凍ストッカー
入道雲	浴室、リフター
マーマレード	電子レンジ
つくしんぼ	卓球台とネット・ラケット一式
つくしの家	ホットカーペット
こげら	パソコン
萩園ケアセンター	電子レンジ、椅子
小和田ケアセンター	エアコン、机
つばさ	エアコン
うーたん保育園	収納キャビネット、スチールシェルフ、床暖房用畳
児童発達支援センターうーたん	デジカメ
ぶらっと東海岸	椅子
ゆるり	自転車、業務用加湿器
いずみ	エアコン
おーらい	クッションチェア
すまいる	パソコン
本部	パソコン

入会のおすすめ

翔の会後援会

「翔の会の後援会」とは？

『誰もが地域で暮らせるために』幅広い事業展開をしている「社会福祉法人 翔の会」の活動を支援するために生まれました。後援会では、この主旨に賛同頂ける多くの方々が集い、イベントやバザーに参加して収益活動をしています。施設でのボランティア活動の活性にも努めています。

会員になるには？

入会申込書に記入して会費を納めてください。
 「空と海」(茅ヶ崎市芹沢 786)の後援会事務担当者
 に直接渡して下さるか、

郵便口座(00220-2-75228)

へ払い込み頂いています。

個人会員	1口	3,000円以上
法人会員	1口	30,000円
利用者本人会員	1口	5,000円以上
利用者家族会員	1口	5,000円以上

詳しくは

後援会事務局「空と海」 島崎まで

TEL 0467-54-5424 FAX 0467-54- 5498

編集後記

ここ最近、私の身の回りで立て続けに利用者が亡くなりました。あまりにも突然の出来事で、悲しみが追いつかない状況でした。

その人のことを思うたび、「〇〇さんは幸せだったのだろうか？」と私の中で自問自答を繰り返します。実際、答えのないものですが、私自身の支援を振り返させられます。

これは職場の方からある研修を通して聞いた話ですが、ある70歳過ぎの高齢の方が「ジェットスキー」に乗りたいという願いを実現しようと、本人と職員が努力した結果、酸素ボンベを背負って、ジェットスキーに乗った本人の笑顔の写真を撮ることができたそうです。

知的障害者にも世の中と同じように高齢化が進んでいる中、当然リスクを考えながら支援をすることも大事ですが、リスクを恐れず「利用者のニーズにどれだけ近づけるか」という過程が大切かと思えます。

「理想を現実に変える力」そんな支援を私は目指していきたいです。

(H.I)